



Basic & New

NIPPON PAINT INDUSTRIAL COATINGS

標準色粉体塗料

ビリューシア[®]

PL5000(JP)

ポリエステル樹脂系
(ブロックイソシアネート硬化)

180°C × 15分
(被塗物温度 × キープ時間)

1 ケースからオーダー可能
短納期対応可能

高外観 / 高平滑性

耐候性に優れる

※標準的なポリエステル粉体塗料との比較

基本情報 *specification*

容量：15 kg

荷姿：ダンボールケース（ポリエチレン中袋）

用途：金属製品、鋼製家具、家電品、弱電製品、配電盤など屋内・屋外用途

※この色見本は印刷のため、実際の仕上がり（色・つや）が異なりますのでご了承ください。
実際の仕上がりサンプルは別途お問い合わせいただくか、または色見本帳（発行予定）にてご確認くださいをお勧めいたします。



5Y 7/1

全つや

半つや



2.5Y 9/1

全つや

半つや



N8.0

全つや



N7.5

全つや



N7.0

全つや

半つや



N6.0

半つや



N5.5

全つや



N3.0

半つや



N1.0

全つや

半つや

性能表 performance chart

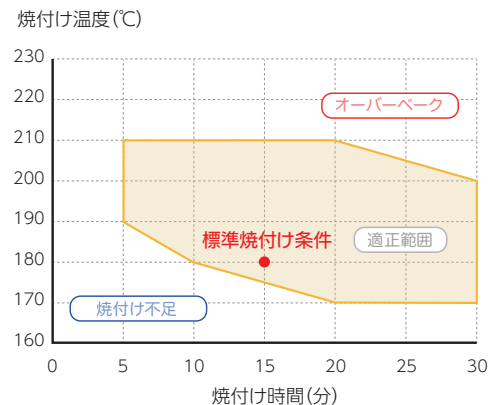
項目	性能・結果	試験方法・条件
鏡面光沢度	80以上	JIS K 5600-4-7 60度鏡面光沢度
引っかき硬度(鉛筆)	F~H	JIS K 5600-5-4 傷による判定
付着性	分類0(100/100)	JIS K 5600-5-6 碁盤目テープ法による 1mm間隔
耐おもり落下性	合格	JIS K 5600-5-3 $\Phi 1/2$ in×500g×30cm以上
耐カップング性	合格	JIS K 5600-5-2 剛球 20mm Φ 押出 5mm
耐湿性	異常なし	JIS K 5600-7-2 50℃ RH95%以上×500時間
耐液体性(水浸漬法)	異常なし	JIS K 5600-6-2 40℃水道水×500時間
耐中性塩水噴霧性	1~3mm	JIS K 5600-7-1 5%食塩水 35℃×500時間 (カット部片側剥離巾)
促進耐候性	GR:50%以上 ΔE :3.0以内	サンシャインウェザーメーター(カーボンアーク灯) 500時間 光沢保持率:GR、色差: ΔE
耐液体性(酸)	異常なし	JIS K 5600-6-1 5%硫酸 23℃×120時間
耐液体性(アルカリ)	異常なし	JIS K 5600-6-1 5%苛性ソーダ 23℃×120時間

【試験片作成条件】 ●試験片:SPCC-SD(ダル鋼板) ●表面処理:リン酸亜鉛処理
●焼付け条件(被塗物温度×キープ時間):180℃×15分 ●膜厚:60±10 μ m

※採用を検討される場合には、焼付けマップを参照のうえ、塗装ライン条件を設定ください。
また、上記の塗膜性能評価は、淡彩色フルグロス、リン酸亜鉛処理SPCC鋼板使用、標準焼付け条件時の参考データであり、素材・前処理などにより結果が変わることがあります。

標準塗装条件

塗装方法	負帯電静電塗装(コロナ式)
塗装電圧	-50~-90kV
標準膜厚	50~70 μ m
標準焼付け条件	180℃×15分 (被塗物温度×キープ時間)



使用上の注意事項

- 塗料の保管条件
 - ①直射日光の当たる場所、熱のかかる場所、結露しやすい場所での保管は避けてください。
 - ②保管温度は30℃以下で、湿気の低い屋内に保管してください。また、床面への直置きは避けてください。
 - ③ダンボールケースは3段階みまでしてください。
 - ④品質保証期限 製造後12ヶ月(未開封)
- 取扱い上の注意事項
 - ①塗料を取扱う場合は、防塵マスク、防塵服、静電靴を着用してください。
 - ②ケースの開封は水でよく洗浄したゴム手袋を着用し、ブース、排気ダストなど集塵装置の前で行い、人体への吸引、付着をできるだけ避けてください。
 - ③タンクが清浄であることを確認し、塗料に空気を入れ、ほぐしてからタンクへ投入してください。
 - ④休日及び長期連休など、長時間タンク内で塗料を放置すると、ブロッキングを起こす恐れがありますので、タンクから取り出し元のケースに戻し保管してください。
- 塗装上の注意事項
 - ①発火源(ライター、鋼製工具、鉄鋌のある靴など)になるものを塗装ブース内に持ち込まないでください。
 - ②ブース本体・被塗物とハンガー間および塗装機は完全にアースしてください。テスターでアースがとれているか、確認してください。
 - ③被塗物とガンとの接触によりスパークが発生する可能性があるため、被塗物のゆれに注意し塗装中ガンは被塗物に異常接近させないでください。
 - ④エアーの配管系に湿気、油分が混入するとブロッキングを起こしますので、除湿するためのドライヤーを、また除油装置(オイルセパレーター)を設置してください。
 - ⑤塗装関連機器(ガン、タンク、ホース、インジェクターなど)は、日常十分清掃、点検のうえ使用してください。

その他注意事項 製品安全に関する詳細な内容は、SDS(安全データシート)をご参照ください。

※記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象とするものですので指定された用法以外には使用しないでください。記載内容は、2020年9月時点で入手できた資料や情報にもとづいて作成しておりますが、今後法律、規則などの改正、新たな知見及び試験などにより改正する事があります。なお記載事項は日本国内においてのみ適用するものとします。